



8/4 Hirado City Photo News
各分野での鄭成功研究を



平戸文化センターで、鄭成功生誕400周年記念事業の一環として、国際シンポジウム「鄭成功とアジアの海」が開催されました。

石文誠氏(国立台湾歴史博物館副研究員)、若松大祐氏(常葉大学准教授)、周芷茹氏(台南市文化協会理事長)、鄭道總氏(安平文教基金会副理事長)の4人の専門家が登壇し、鄭成功の人物像から当時の世界情勢、そして英雄として信仰される形についてなど、各分野での研究成果が発表され、意見が交わされました。

8/3 Hirado City Photo News
夏休みに海洋ごみ問題を学ぶ



生月町中央公民館をメイン会場として、市内の小中学生を対象に「ひらどエコフェスタ フィールドワーク編」が開催され、14組、39人が参加しました。

海洋ごみの問題について学び、方倉海岸ではたくさんのお漂着ごみを回収しました。

その他にも、漁網リサイクル施設や風力発電所の見学、エコモビゲーム(乗り物のCO₂排出量を学ぶすごろく)を通して自然環境について学びました。

参加した児童は「二酸化炭素を減らすために、ゴミを減らすよう気をつけたい」と話しました。

7/21 Hirado City Photo News
災害時周りを助ける人材に



田平町民センターで、「平戸市災害ボランティア若年人材育成プログラム事業～君が地域の防災支援者となるために～」が開催され、市内外の高校生33人が参加しました。午前中の炊き出し訓練では、自分たちで役割を分担し、災害時に炊き出しで最も採用されるカレーライスを協力して調理。午後の災害時対応学習では、自衛官、警察官、消防士、介護士、社会福祉士、看護師、保健師など、高校生自身が望む業種の災害時の役割を学びました。

次回は、避難所の運営訓練に取り組みます。

7/19 Hirado City Photo News
船上から安全に救助を



平戸港で、警察署・消防署・海上保安署の「三機関合同訓練」が行われました。

大型船舶で火災が発生した際に、各機関が連携して迅速に対応することができるよう、2年に1度実施されているもの。

今回は、平戸沖を航行中のフェリー大島で火災が発生したことを想定し訓練がスタート。フェリーの乗組員からの救援要請を受け、救助隊が海上保安署の巡視艇に乗り込み、乗客を迅速に避難させ、負傷者の救助活動を行いました。

8/11~18 Hirado City Photo News
祈りを込めて舞い踊る



平戸市内各地で、五穀豊穡や家内安全、地域の反映を祈る伝統行事である「ジャンガラ」や「須古踊り」が奉納されました。今年は、9地区(戸石川、川内、山中、紐差、根獅子、中津良、津吉、大志々伎、野子)のジャンガラと4地区(獅子、的山、神浦、館浦)の須古踊りが実施。*宝亀のジャンガラは中止

上の写真は、4年ぶりに奉納された津吉のジャンガラ。炎天下を1日をかけて練り歩き、踊りを奉納する演者の皆さんに、地域の皆さんから感謝とねぎらいの拍手が送られました。

8/7~10 Hirado City Photo News
平戸の歴史や自然に触れる



平戸市・枝幸町いきいき交流事業で、北海道枝幸町から中学生など8人の訪問団が平戸市を訪れました。期間中は、平戸城や生月町博物館「島の館」など市内施設の見学や、シーカヤック体験、平戸瀬戸クルージングなどを行いました。

また、9日は生月中学校の平和学習に参加し地元中学生と交流しました。

この交流は、旧生月町と旧歌登町の「国道も鉄道もない、ないないサミット」での出会いがきっかけで平成14年から行われています。

8/2 Hirado City Photo News
地域を盛り上げる熱い議論



平戸市未来創造館で、「第3回ふるさとプロジェクト会議」が開催され、平戸市内の中学校から代表各2人ずつが集まり、平戸市の地域振興策について熱い議論を交わしました。

会議では「平戸の文化や自然について学ぶアイデア」「廃校泊(廃校を利用した宿泊施設)のアイデア」という2つのテーマについて、「パンフレットやアプリを使ったスタンプラリーを企画したい」「大人が懐かしい学生時代を体験できる廃校泊を提供したい」など、積極的な意見が多く出されました。

7/23~26 Hirado City Photo News
楽しみながら英語を学ぶ



たびら活性化施設と平戸市街地でイングリッシュキャンプが行われました。7月23日・24日は小学生37人、7月25日・26日は中学生38人が参加し英語を学びました。イングリッシュキャンプは、子どもたちの英語への興味関心を高め、英語を学ぶきっかけにすることを目的に毎年開催されています。

子どもたちは、グループに分かれALTや国際交流員と英語でコミュニケーションを取りながら、平戸市街地を散策。最終日は感想や散策したスポットについて英語でまとめ、参加者の前で発表しました。